

取手一高バドミントン部活動報告

台風 19 号で被災された方の ボランティアに参加してきました！

日程 12 月 8 日(日)

場所 太子町

台風 19 号で被災された方のお宅の片付けのお手伝いをさせていただきました。



参加した 生徒の感想

・活動は室内の床掃除の手伝いを行いました。泥や砂、埃が多くてもものすごく大変でした。床をこすり何度も砂を集めても床は綺麗にならず、そのため何度も何度も床をこすり続けました。だけど、私はボランティアの活動が終わった後、とても清々しい気持ちになりました。作業後、被災者の方から「ありがとう。大変だったでしょう。本当に助かったよ。」と話をされてすごく嬉しかったです。

・テレビで見るよりも現地に行った方が感じられることがたくさんあり、「百聞は一見にしかず」ということを思い知らされた。自分の目で見ることの大切さなど本当に学びが多かった。学んだことの 1 つ目は自然の力はとても大きく、逆らうことができないことだ。現地に行って電車の線路が切れているのを見た。自然の力で流されたこと知り、自然災害はとても恐ろしい力を持っていると実感した。2 つ目は作業中での声掛けは大切だということだ。作業をしていてどうしてもその場を離れなければならない時に「〇〇〇〇に行くので一旦持ち場を離れます」と声を掛けている大人が居て、これは大切なことだと思った。この一言を言うだけで誰がどこに行ったのか、事故に遭遇していないかなどの不安が解消される。他にも狭い場所を通る時は「通ります」と声を掛けることで事故や怪我の防止になると実感した。

・今回私は初めて災害ボランティア活動に参加させてもらいました。内容は家主さんの家で泥出しの手伝いでした。被害は台風 19 号によるものであったが、約 2 か月経った今でもほぼ手つかずの状態でした。家の周りを見渡しても山の斜面が崩れていたり、用水路に土砂が溜まっていたりとまだまだ復興するまでには時間がかかる様子でした。テレビではあまり報道されていないがこのような状況がまだまだ現地には多く見られました。被災地に訪れる前にどのような被害が出ているかと気にはなっていたが、実際に現場でみる光景はテレビや新聞で見たような大きな被害でした。片づけの手伝いをしていて思ったことは、もし自分がこのような災害に遭った時にボランティアの方々が手伝いに来てくれることがどれほど助かるかということです。それを今自分がしていると思うと人のために尽くしているという実感が沸きました。